

第3回山形県地域医療対策協議会 議事要旨

1 日 時 令和元年12月25日(水) 15時00分～16時40分

2 場 所 自治会館 401会議室

3 出席者

—委員(五十音順)—

会長 吉村美栄子 山形県知事
委員 阿彦忠之 山形県健康福祉部医療統括監
委員 安藤常浩 社会医療法人みゆき会みゆき会病院長
委員 石井政次 山形済生病院長
委員 大串雅俊 米沢市立病院長
委員 大澤賢史 山形県病院事業管理者
委員 鎌塚栄一郎 北村山公立病院長
委員 神村裕子 山形県医師会副会長
委員 川並透 (独行) 国立病院機構山形病院長
委員 後藤康夫 寒河江市立病院長
委員 佐藤俊浩 最上町立最上病院長
委員 島貫隆夫 (地独) 山形県・酒田市病院機構日本海総合病院長
委員 鈴木聡 鶴岡市立荘内病院長
委員 高橋一二三 白鷹町立病院長
委員 武田弘明 山形県立中央病院長
委員 土田正剛 山形県市長会長(東根市長)
委員 中目千之 山形県医師会長
委員 根本建二 山形大学医学部附属病院長
委員 八戸茂美 山形県立新庄病院長
委員 林雅弘 公立置賜総合病院長
委員 原田真樹 山形県町村会長(庄内町長)
委員 平川秀紀 山形市立病院済生館長
委員 深瀬和利 山形県立河北病院長
委員 山下英俊 山形大学医学部長

—その他—

山形県地域医療構想アドバイザー

村上正泰 山形大学医学部医学系研究科

―事務局―

玉木健康福祉部長、泉健康福祉部次長、酒井地域医療対策課長、各総合支庁保健企画課長 他

4 議題

協議事項

- ①医師確保計画の全体像について
- ②医師確保の方針について
- ③目標医師数の設定について
- ④目標医師数を達成するための必要な施策について
- ⑤産科・小児科医の確保対策（産科・小児科確保計画）について

5 議事概要

○ 目標医師数を達成するための必要な施策について

- ・ キャリア形成プログラムについては一定の評価ができる。
- ・ 医師が長期にわたって山形県の医療に貢献しながら地域に定着していくためには、大学で勉強しつつ、地域の病院をローテーションしながら医師として育成できることが必要。
- ・ 数字だけで人を動かすのは適切でないし限界があるため、きちんとしたモチベーションを持った医師が地域に定着し、医師が中長期的なキャリアパスを描くことができる体制をどう作っていくかを議論していく必要がある。
- ・ 県内だけではなく、他県とも話し合いをしながら、互いにメリットがある形での医師の充足ができないのかなど、広く発想を転換しながら考えていかないと、県内の医師数は増えないのではないか。
- ・ 地域医療対策協議会発足前から蔵王協議会が医師不足地域への医師派遣を担ってきたことを勘案すべきではないか。
- ・ 診療科ごとの若い医師のキャリアパスを考えると、山形大学の教育が非常に大切なので、山形県と山形大学で整合性が取れる協議をして欲しい。

○ 産科・小児科医の確保対策（産科・小児科医確保計画）について

- ・ 産科医師数が本県では医師少数区域ではないとされているが、各病院の産科の休止が続いており、今後、民間を含めて産科がなくなる危機感を抱いている。人口減少に歯止めをかける意味でも、産科医の確保は重要ではないか。

以上